

ア的戰術家でない

×

×

×

×

最近の世界的事實（蘇聯邦の社會主義をも含んで）は我々に教へる世界社會主義の實現は、形式的國際主義に據らず、各國特殊の條件に即し、其民族の精力を代表する労働階級の精進する一國的社會主義建設の道を通ずることを、民族と階級とを反撥させるコミンタインの政治原則は、民族の統一の強國を社會的特質とする日本において特に不通の抽象である。最も進歩的な階級が民族の發展を代表する過程は特に日本に於てよく行はれよう。世界革命の達成のために自國を犠牲にするも怖れざるはコミンタイン的國際主義の極致であり、我々も亦實に之を奉じてゐた。しかし我々は今、日本の優秀なる條件を覺醒したが故に、日本革命を何者の犠牲にも供しない決心をした。我々は世界プロレタリアートの間の國際主義そのものを否定するのでない。しかし今後のヨリ高い國際主義はむしろ世界の主要個所における一國的社

會主義建設の努力の中に築かれるであらう。世界すべての民族がかかる能力を現有してゐるのでないが、日本は現在到達してゐる高度の文化から見て此能力を豊富に有してゐる。從來ブルジョアが彼等の防衛のために恣に日本を使つたが故に、階級意識ある労働者は却て自國に對する大なる關心を缺くようになつてゐる。しかし日本の労働者が日本を主として考慮するほど自然且つ必要なことはない。日本民族が古代より現代に至るまで、人類社會の發達段階を順當に充實的に且つ外敵による中斷なしに経過してきたことは、我々の民族の異常に強い内的發展力を證明してゐる。また日本民族が一度たりとも他民族の奴隸たりし經驗なく、終始、獨立不羈の生活をしてきたことの意義は甚だ大きいのである。之によつて培はれた異常に強固な民族的親和統一と國家秩序的生活の經驗とは、内面的に相聯關して、日本の歴史上に生起した數次の階級勢力交替の過程を、他の、異民族的支配と經濟的搾取と政治的壓伏とが錯綜せる國々に見られる如き、階級闘争の原始的